



ねんきんネットはマイナポータルと連携することでさらに便利に。

年金情報を簡単に確認！

ねんきんネット体験会

11月には公的年金制度を身近に感じ、理解を深めるため「ねんきん月間」と位置付けられています。これに合わせて市は、金沢南年金事務所と合同で11月20日(木)にイオンスタイル御経塚でねんきんネット体験会を開催し、利便性を周知しました。ねんきんネットは年金記録の確認、通知書の閲覧など年金に関する各種手続きがスマートフォンやパソコンで行えるサービスです。実際に体験した人からは「働き始めてからの年金記録が全て自分のスマホで見ることができて便利」との声が聞かれました。

環境のこと、考えてみよう

小中学生「環境問題」研究作品展

夏休みに市内小中学生が取り組んだ「調べる学習」の中で公民館連合会会長賞を受賞した作品の展示が、市内公民館と女性センターで行われました。この賞は環境に関する優れた作品に贈られるもので、今年は15作品が選ばれました。展示は12月2日(火)から14日(日)まで行われ、展示を見た人からは「小中学生とは思えないしっかりした研究で驚いた」「私が子どものときはこんなこと考えもしなかった」など、作品の出来栄に驚く声が聞かれました。



地球温暖化やごみの減量化など、さまざまな作品が並びます。



心を込めて作られた作品の数々が並びます。

個性あふれるクラフト品がいっぱい！

ハンドメイドクラフト MARKET

12月7日(日)、にぎわいの里ののいち カミーノで「ハンドメイドクラフト MARKET」が開催されました。地元をはじめ県外からも“ハンドメイドクラフター”がカミーノに集い、創意工夫を凝らした手作りの品を販売しました。場内では17の出店者による彩り豊かなクリスマス＆迎春グッズが来場者を出迎えました。また親子で小物づくりを体験できるワークショップや、キッチンカーのグルメなど催しが目白押し。買い物を終えた来場者の表情は笑顔で満ちていました。

未来の横綱はここから!?

どすこいクラブ

つばきの郷児童館で12月10日(水)、どすこいクラブが練習を行いました。どすこいクラブは、相撲を通してスポーツに触れる機会を設け、心身の健全育成などを目的に月2回活動しています。この日は小学生12人と、指導に当たる市相撲連盟職員3人で練習を行いました。まずは四股や股割りなどの基礎練習をした後、1対1の取り組みや相手を土俵の外へ押し出すぶつかり稽古を行いました。勝っても負けても最後は礼をし、にこやかに土俵を出る児童は心から相撲を楽しんでいるようでした。



リーダーの木村さん(中央)の胸を借ります。児童や指導者も白熱！

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227-6056

公民館に地域の笑顔が集まった！

ふれあいもちつき会

11月30日(日)、押野公民館でふれあいもちつき会が行われました。まずは公民館サークルによるオカリナ演奏がオープニングを飾りました。会場ではキーホルダーや小物入れを作製するワークショップ、野菜の即売会、公民館サークルや市内小中学校「調べる学習」の作品展示、親子ドローン操作体験などさまざまな催しが盛りだくさん。もちつき会では、誰でも餅つき体験ができるとあって子どもたちが行列を作っていました。子ども用のきねでも見た目以上に重く、「おもーい！」と言いながらも一生懸命きねを振り下ろしていました。その横ではみんなでついた餅を販売し、売上金は令和6年能登半島地震・奥能登豪雨災害の義援金として全額寄附されました。イベントを通じて地域の人と楽しく交流できる1日となりました。



①力を合わせてお餅をぺったん。②草月流生花サークルの作品。③笑顔でパチリ。④押野民謡サークルは越中おわら節の演奏と踊りを披露。⑤親子でドローンの操作体験。着地は慎重に。⑥⑦キャンディ型のキーホルダーを作製中。



町内会役員と関係機関が何度も協議を重ね実現しました。

誰もが安心して暮らせるまちを目指して

訪問介護事業所専用ゴミステーションの設置

11月9日(日)、本町六丁目町内会に訪問介護事業所(ヘルパー)専用のゴミステーションが設置されました。ヘルパーの支援を受けて生活する高齢者は、ヘルパーの活動時間と一般ごみの収集時間が合わないため、ゴミ出しが難しいことがあります。この取り組みは、そうした状況を把握した町内会が支援のために始めたものです。本町六丁目町内会長は「このような取り組みが市内全体に広がることで、高齢になっても安心して暮らせるまちになると思います」と話していました。

地域の未来をアイデアで切り開く

プレゼン大学 in ののいち

にぎわいの里ののいち カミーノで11月15日(土)に「プレゼン大学 in ののいち」が開催されました。発表者は8日(土)にプレゼンテーション技術を向上するための講座を受けた後、栗貴章市長の前で直接自分のアイデアを伝えました。プレゼンのテーマは、「未来の市民の幸せにピッタリフィットするアイデア」。5組の発表者は思い思いの考えを身振り手振りを使いながら「食品トレイゼロの実現」や「市民カウンセラー1万人養成」などさまざまなアイデアを3分間熱弁しました。



プレゼン終了後には、栗市長(右)から総評がありました。